

柏葉脳神経外科病院広報誌

特定医療法人
柏葉脳神経外科病院

札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20
TEL.011-851-2333

かしわば

vol.44
2016.3

専門性と総合性を兼ね備えた体制の構築へ

高齢社会と共に歩む 脳神経外科病院を目指して

柏葉脳神経外科病院 理事長・院長

金子 貞男

専門性と総合性を兼ね備えた体制の構築へ

高齢社会と共に歩む 脳神経外科病院を

目指して



柏葉脳神経外科病院
理事長・院長 金子 貞男

社会の要請に応えた 認知症の診療

当院はこれまで、主に脳血管障害と脳腫瘍や脊髄疾患などを中心に診療を行い、「救命する」「後遺症を残さない」ための治療に力を注いできました。

日本はこれから未曾有の超高齢社会を迎えます。当院の入院患者さんの平均年齢も70歳を超えました。高齢患者さんの多くが複数の疾患を抱えており、脳神経外科の治療だけでは十分に回復が見込めないケースも増えていることから、当院では必要に応じ患者さんの全身管理を循環器内科医が行っています。

急増している認知症に対しては、2007年4月に「**もの忘れ外来**」を開設しています。脳の画像診断に精通している医師と脳の認知機能検査を行う臨

床心理士が診療を担当し、正確な診断と客観的な証明から認知症への医学的介入を行ってきました。アルツハイマー型認知症の発症前診断が心理検査やMRI、SPECT（脳血流検査）の画像などである程度可能なことから、認知症の早期発見・早期治療が、当院の重要な役割になると思います。

認知症は早期対応が進行遅延につながることから、さらに力を注いで診療にあたらなければならない使命を感じています。

生活の質を維持・向上する 医療のさらなる充実へ

脳卒中の後遺症の一つに手足の^{けいしゆく}痙縮があり、生活動作を困難にしています。筋肉に異常な緊張が起き、発症から時

間経って症状が強くなります。この痙縮に対して、当院ではA型ボツリヌス毒素製剤を注射する治療を始め、筋肉の緊張や痛みが弱くなる効果を臨床症例で確認しています。

脳の回復メカニズムに基づいた新しいリハビリテーションにますます期待が集まっていますが、当院では脳血管障害で失った身体機能を改善・補助・拡張する**ロボットスーツ「HAL」**や手の運動機能回復を目指す**「MUROソリューション」**の臨床症例を重ねています。残存した身体機能の最大限の回復を目指すための医療に、今後も積極的に取り組んでいきます。

また、**睡眠時無呼吸症候群**は脳や体に大きな負担をかけることから、当院



ロボットスーツHAL

多種多様な医療機関との 連携を強化します

でも検査・診断・治療を行っています。
てんかん・けいれんは脳の神経細胞が過剰に興奮し、意識を失ったり、けいれんを起こしたりする慢性の脳疾患で、子どもに多いとされていますが、高齢でも発症します。当院では専門医による定期的な検査と薬物療法を行っています。

幅広い脳神経疾患に対応

日本で初めて当院が導入した悪性脳腫瘍(膠芽腫)の最先端治療・腫瘍電場療法TTFは、米国で行われている臨床試験の結果を踏まえながら現在7症例を実施しました。

腰痛や手足の痛み、しびれや麻痺を引き起こす脊椎・脊髄疾患は、加齢に伴い発症・増悪することから患者数が年々増加しています。当院では外科的手術も含め、多くの選択肢を持ちながら、専門医が「**脊髄外来(しびれ・痛み)**」で治療を行っています。

「**脳動脈瘤外来**」では、専門医が脳動脈瘤の状態を診断し、最も適切な治療を導き出します。治療難易度の高い巨大脳動脈瘤にはバイパス術併用の開頭クリッピング術に術中脳血管撮影や術中脳神経機能モニタリングを実施し、良好な治療結果を得ています。また、高齢者に多い脳梗塞や未破裂脳動脈瘤の治療には最先端の「**血管内治療**」を導入しています。

高齢社会の進展による高齢患者の増



MUROソリューション

加に適切に対応するため、北海道大学病院や北海道医療センターの専門医と連携し、最先端医療を安全・確実に提供できる診療体制を整えています。

リハビリテーション科からの 報告

ロボットスーツHALとMUROソリューションを使った リハビリテーションの有効性を確認

当院では科学的な知見に基づき、患者さんの体に機械やコンピューターを装着する新しいリハビリテーションを先駆けて導入し、研究や治療を行ってきました。治療実績は学会などでも発表しています。

ロボットスーツHAL

運用開始：両脚型 2012年11月／単脚型 2015年4月

脳卒中の後遺症で歩きにくくなった患者さんがロボットスーツHALを装着すると、足りない筋力が補われ、脳神経系への運動学習を促すことができます。

治療実績

実施者

2012年11月～2015年12月までに
合計51人

結果

ロボットスーツHALのリハビリテーション終了時における10m快適歩行速度を、通常のリハビリテーション後の速度と比べたところ、有意に速く、運動機能の回復に有効に働いたことが分かりました。

MUROソリューション

運用開始：2013年5月

麻痺で指が伸ばしづらくなった患者さんが電気刺激装置MUROソリューションを装着すると、筋肉の微弱な活動を電極が感知し、指を使った作業療法が可能です。

治療実績

実施者

2013年5月～2015年12月までに
合計約40人

結果

片麻痺機能評価上田式12段階グレード法で32人のデータを見たところ、上肢の麻痺では32人中26人が改善(81.25%)し、手指の麻痺は32人中23人が改善(71.875%)しました。

もの忘れ外来

今までとは違う変化に気づいたら受診しましょう

「もの忘れ外来」では、患者さんの生活状況や家族構成、困りごとなどの情報収集を行うために、医師からの指示を受けた臨床心理士が患者さん・ご家族と面談し、問診と心理検査を行っています。

認知症の患者さんの場合、自ら望んで受診することは少なく、「認知症を疑った娘さん」がもの忘れなどの親の変化を心配して連れて来るケースが多いことが、昨年の4カ月間の問診の内容をまとめたデータで確認できました。

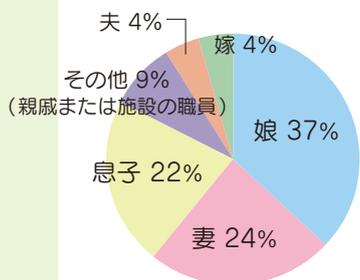
患者さん自身は自分の変化をあまり気にしていないことが多いのですが、**脳の状態をCTやMRI、SPECTなどの画像検査で診ることで、認知症の正確な診断や脳疾患との鑑別を行うことができます。**

認知症を完治させる治療法はまだありませんが、早期発見・早期治療で進行を遅らせることができます。今までとは違う変化に気づいたら、もの忘れ外来を受診しましょう。

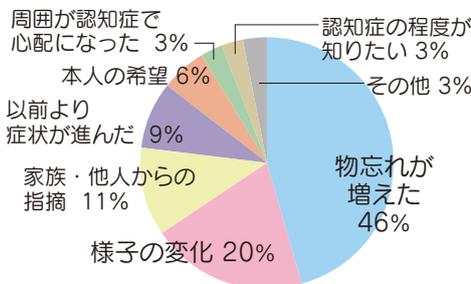


検査中の臨床心理士

もの忘れ外来同伴者



もの忘れ外来受診動機



～4カ月間の問診から～

もの忘れ外来に期待していること (上位3項目)

- 1・接し方を教えてほしい
- 2・進行を止めたい
- 3・状態を知りたい

もの忘れ外来

まずは電話でご相談を

予約電話番号：011-859-5636 (予約受付時間 月～金 9:00～12:30 / 13:30～16:00 土 9:00～12:30)

私たちの考えていること

柏葉脳神経外科病院

病院の理念 私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、高度な脳の専門病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見(セカンドオピニオン)を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

柏葉脳神経外科病院 診療科目 脳神経外科・神経内科・精神科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

外来診療の受付時間

診療科目	曜日	受付時間
脳神経外科	平日	8:40～12:00 13:30～16:30
	土	8:40～12:00
神経内科[予約制]	平日	8:40～12:00
	土(隔週)	8:40～12:00
精神科[予約制]	火～木	8:40～12:00 13:30～16:30
	月	8:40～11:30
循環器内科	火・水・金	8:40～12:00
	木	13:30～16:30
	土	8:40～12:00

脳ドック[予約制]

火・木曜 ①13:30 ②14:00

専門外来[予約制]

- 脳動脈瘤外来…火曜 午後
- もの忘れ外来…電話でご相談ください
- 脊髄外来(しびれ・痛み)…木曜 午後・金曜 午前

予約電話番号 011-859-5636 (月～金)

救急指定病院 救急患者さんは、診療日・診察時間を問わず24時間診察いたしております

